

第 1 1 回はだのクリーンセンター環境運営委員会議事録要旨

1 日 時

平成 2 6 年 5 月 1 9 日（月） 午前 9 時 5 5 分から午前 1 1 時 3 0 分まで

2 場 所

秦野市伊勢原市環境衛生組合会議室
（はだのクリーンセンター 3 階小会議室）

3 出席者

- (1) 委員（出席 1 1 名）
- (2) オブザーバー（出席 2 名）
- (3) 事務局（3 名）
- (4) その他（1 名）

4 内容

(1) はだのクリーンセンター環境運営委員会設置要綱の改正について

- ・ 当委員会要綱の一部改正について、当会議からクリーンセンター周辺自治会員に山谷自治会が新たに加わったことによる改正との説明をし、この改正でこのままいくのかとの質問に対し、要望があれば当委員会にて検討したうえで、その結果に基づき改正していくと回答をし、今回の改正は了承された。

(2) 正副委員長の選任について

- ・ 正副委員長の選任に係る今までの経過を考慮され、クリーンセンター周辺自治会から推薦されている委員の中から委員長及び副委員長が選出された。

(3) 平成 2 6 年度におけるはだのクリーンセンター環境運営委員会のスケジュールについて

- ・ 当委員会の年間スケジュール、はだのクリーンセンターの定期点検整備時期、周辺環境測定時期について説明した。
- ・ スケジュールの中で、点検整備等での計画停止が 6 月と 1 0 月は 2 炉

とも停止となっているが、2 炉とも止めても問題はないのかとの質問に対し、ボイラーに関するものなど 2 炉停止しないと点検や整備ができない箇所を実施すると回答をした。

(4) はだのクリーンセンターにおける各種実績データについて

- ・ 秦野市と伊勢原市の搬入台数に対しての搬入量を比較すると、伊勢原市のほうが 1 台あたりの数量が多く、効率よく運んでいるように捉えられる。車両 1 台に対する積載量が多ければ、はだのクリーンセンターへ搬入する車両台数が少なくなって良いのではとの意見があった。
- ・ アンモニア濃度は基準値を超えていないが、前月と比較するとやや高めに推移しているとの説明があったが、この原因は何かとの質問に対し、現在、原因について調査しているところで、結果が出次第対応すると回答をした。
- ・ はだのクリーンセンターの周辺には相当の農地があるが、なぜ、周辺環境測定を農地で測定しないのかとの質問に対し、農地での測定については農薬や肥料などの影響を受けるため、測定地点としていない。煙突からの排ガス中のダイオキシン類濃度の測定結果も自主規制値と比較しても桁違いに低い数値なので、この数値から安心していただきたい。

また、調査地点については、建設前に実施した環境影響予測評価（環境アセスメント）の調査により、最も濃度が高くなると想定した最大着地濃度地点近辺を選定していると回答をした。

- ・ 周辺環境測定の大気の測定について、測定地点によっては建物の屋上や地上で実施しているが、ダイオキシン類については重量があるので、屋上で実施するよりも影響が大きいと推定される地上で実施したほうが良いのではとの質問に対し、大気中のダイオキシン類測定につきましては、二市組合の旧管理棟と末広小学校において建物の屋上で実施しているが、この 2 地点ははだのクリーンセンターの建設前から測定を実施しており、経年的な変化を把握していくためにも続けていきたいと回答をした。

(5) その他

- ・ 今回の委員会からはだのクリーンセンター周辺自治会から推薦された委員に、山谷自治会が新たに加わったため、これまでに委員会で決めた

連絡体制などで御門自治会長へ連絡等行う箇所については、山谷自治会長も加えさせていただくと説明をした。

- ・ 次回の委員会は11月ごろを予定しており、スケジュールにもあるようにその前月に視察を予定しているので、詳細が決まり次第委員長をとおして連絡すると説明をした。